

▼ロキシーン錠 [内]・注 [注]

【重要度】 【一般製剤名】プリジノールメシル酸塩 pridinol mesilate 【分類】中枢・末梢性筋緊張緩解放

【単位】▼4mg/錠, ▼2mg/A [1mL]

【常用量】■内服：12mg/日■注：1回2mg

【用法】■内服：1日3回■注：1日1回筋注もしくは静注

【透析患者への投与方法】データがないので設定できない (5)

【その他の報告】設定されていない (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】データがないので設定できない (5)

【その他の報告】腎障害を悪化させるおそれがあるため腎障害患者には慎重投与 (1)

【特徴】中枢および末梢神経に対してアトロピン類似の筋弛緩作用を示し、運動器疾患による有痛性痙攣を緩解する。抗コリン作用があるので注意。

【主な副作用・毒性】眠気、めまい、ふらつき、脱力感、倦怠感、発疹、消化器症状など。自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させない。精神病発生の可能性 (Cichecki Z. Psychiatr Pol 14: 88-9, 1980 [Title] PMID: 7367525)

【F】資料なし (1)

【tmax】0.55hr (1)

【代謝】資料なし (1)

【排泄】資料なし (1)

【t1/2】0.48hr (1)

【蛋白結合率】資料なし (1)

【Vd】資料なし (1)

【MW】391.52

【透析性】資料なし (1)

【OW 係数】資料なし (1)

【相互作用】中枢神経抑制剤と併用注意 (1) チオリダジン血中濃度の変化 (Sidorowicz S, et al: Psychiatr Pol 19: 423-4, 1985 [Title] PMID: 3832136)

【更新日】20151207

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。